

Time travel in MIYOSHI

三好 歴史をたどる旅

第5話「三好公園の整備」

昭和34年の三好池の完成後、かんがい用のため池としての役割を終えた中池と下池。その敷地を利用して陸上競技場や屋外プール、弓道場、野球場など、たくさんの施設が造られ、公園の一部となっています。今回は、多くの人々に親しまれ続けている三好公園の整備の様子を紹介します。



陸上競技場の工事見学

公園の必要性

三好池の完成後、中池と下池の有効利用が問題になりました。三好町では、都市化が進み、開発による緑地の減少を回復し、またその保全を図るために、昭和40年ごろから公園が必要とされるようになりました。このころは、昭和39年に開催された東京オリンピックの影響を受け、スポーツ参加への意識が高まった時期でもあり、スポーツのできるグラウンドなどの施設を取り入れた「三好公園」の計画が持ち上がりました。

公園施設の整備

当時、中池と下池は新屋敷行政区および三好上行政区がその水利権を保有していました。青少年の健全育成、スポーツ振興、町民同士の触れ合いの場などの実現を目指し、関係者と町とで権利の譲渡などについて協議。昭和42年9月、三好公園の新設が決定されました。



総合体育館しゅん工式

して、陸上競技場の建設が、同年より着手され、翌昭和43年に完成。10月には、それまで三好中学校で開催されていた体育大会が、この陸上競技場で開催されるようになりました。昭和44年には、弓道場、屋外プール、野球場の建設が相次いで始まり、同年10月には弓道場が、翌年7月には屋外プールが完成。昭和46年には、野球場が完成し、その後、照明塔も設置され、本格的な野球場として利用されるようになりました。さらに昭和48年には、テニスコートも完成し、当初の公園構想が実現しました。この公園内の運動施設は、当時の人口2万2,000人規模の町においては、突出したもので、県下においてもトップレベルの施設でした。そして、三好池周辺も含め、自然と融合した公園づくりを目指した結果、全体面積70.4haにおよぶ総合公園になり、多くの人々に親しまれ利用されるようになりました。

総合体育館の建設

昭和51年には、小中学校体育館の開放事業が始まりました。町を挙げてのスポーツ振興が行われているなか、スポーツ、レクリエーションを通じて、地域住民が交流を持ち、豊かな人間関係を築くことを求める声次第に高まりました。そして、昭和53年に計画されたのが総合体育館建設構想でした。

既設の三好公園の屋外体育施設との関連性を保つため、建設場所は陸上競技場に隣接する位置とし、昭和55年9月に総合体育館建設問題協議会を発足。アリーナなどの施設規模などについて検討を重ねました。そして、この協議会の提案に基づき、総合体育館建設プロジェクト会議を設置し、基本計画の検討を行いました。敷地造成工事の後、昭和57年8月から建設工事に着手。計画から6年の歳月を経て、総事業費約23億円をかけた総合体育館が昭和59年5月に完成しました。

歴史

おめでとう
おたんじょうび
10月

『上手に歌えるよ』

ABCの歌やカエルの歌をとっても上手に歌える瑠偉くん。オリジナルの替え歌を作って家族を楽しませてくれるんだって。

お母さんが洗濯物を畳むときには、お手伝いもちゃんどできるんだよ。来年の4月から幼稚園に通うのを楽しみにしている瑠偉くんは「明るく、元気に、友達をたくさん作って、仲良く遊んでほしいな」とお母さんにおおはらるい。

大羽 瑠偉くん(東山)

平成12年10月2日生

父・次郎さん 母・由里子さん



『踊りが得意』

いつも元気いっぱいな未結ちゃん。お気に入りのテレビ番組を見ながら、音楽に合わせて上手に踊るんだって。パパがお家に居るときは、一緒に散歩に出掛けて、いろいろな所を歩いて回るんだよ。ミッキーやプーさんのぬいぐるみとおままごとをするのが大好きな未結ちゃんに「元気で、優しい子に育ってほしいな」とお母さん。てらそのみゆ

寺園 未結ちゃん(三好丘おおは)

平成13年10月12日生

父・健一さん 母・和美さん



生協者募集
中

【12月のお誕生日コーナー】

▼応募期間 11月4日から6日まで

▼対象 12月生まれで3歳未満の児

▼応募方法 広報情報課へ電話で
☎(32)83357

※10月の応募数は、12件でした。

広報クイズ

つのカヌーボロチームで総当たり戦を行いました。(引き分けはなし) その結果は、

(き) 5勝0敗、(憲) 4勝1敗、(山) 2勝3敗、(野) 1勝4敗、(の) 1勝4敗でした。

また、(山)は(の)に、(野)は(の)に勝ちました。

問① (そ)チームは何勝何敗だったでしょう。

問② (の)はどのチームに勝ったのでしょうか。

【応募方法】 答え(①〇勝〇敗②〇)チーム・郵便番号・住所・氏名・電話番号・年齢とご意見・ご要望などを書き添えて、はがき、ファクス、または電子メールで広報情報課へお送りください。

正解者の中から抽選で10人に、図書券5000円分をプレゼントします。

【あて先・送信先】

・はがき: 〒470-0295

三好町役場広報情報課(住所不要)

・ファクス: ☎(32)2165

・電子メール: ☐kohojoho@town.miyoshi.aichi.jp

【締切日】 10月10日(金)必着

【9月号の正解と当選者】 ①19人②カキ8個、ナシ5個、ブドウ3房③余り3 (果物の数の差

57と38は、子どもの人数の倍数。その公約数

1と19より、子どもの人数は19人) (全36通中

正解34通) 青郷道代、伊藤武志、大塚みゆき、

岡本昌大、小川真伸、耕祐一、鈴木祐子、前田

真知子、森岡京子、山本香美(敬称略)

【アイデア・企画】 広報で紹介するといったアイデアなどありましたら広報情報課へお知らせください。